

# 国際歴史学委員会

International Committee of Historical  
Sciences (英文略称ICHS/ 仏文略称CISH)

---

Comité International  
des Sciences Historiques



International Committee  
of Historical Sciences

日本学術会議  
2021年10月

国際歴史学委員会  
International Committee of  
Historical Sciences  
(英文略称ICHS/ 仏文略称CISH)

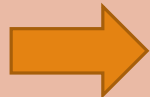
Comité International  
des Sciences Historiques



International Committee  
of Historical Sciences

## 沿革と目的

1926年, 国際歴史学会議のための常設委員会としてジュネーヴで創設



5年に1回, ホスト国の国内委員会とともに国際歴史学会議を開催

## 参加団体(メンバーシップ)

- ・各国を代表する歴史学の団体56か国
- ・国際的な歴史学組織29団体

# 国際歴史学委員会

Comité International  
des Sciences Historiques



International Committee  
of Historical Sciences

## 国際歴史学会議

- ・1900年, パリで第一回大会
- ・二つの大戦で中断
- ・今日まで22回を開催

(原則として5年1回の開催)

2000年 オスロ

2005年 シドニー

2010年 アムステルダム

2015年 済南

2022年 ポズナニ (予定)

☆本来2020年にポズナニで開催予定であったが, コロナ禍のため延期されている

# 国際歴史学委員会

Comité International  
des Sciences Historiques



International Committee  
of Historical Sciences

## ■ 運営

- General Assembly 総会 (5年に2回開催)
- Board 理事会 (通常毎年1回開催)
- President 会長 (Catherine Horel キャサリン・ホレル)
- 財源: 会員団体拠出分担金
- 最近の動向

グローバルな視野に立った歴史学者の連帯に努め、財源の限られた国々も大会に加わることができるような財政的な工夫に努め、特にアフリカ諸国への加盟勧誘に取り組んでいる

# 国際歴史学委員会

Comité International  
des Sciences Historiques



International Committee  
of Historical Sciences

## ■ 日本が加盟する意義

- 日本学術会議 史学委員会の国際歴史学会議等分科会が国内委員会として活動
- 国内の歴史学の動向を国際発信できる
- 国際的な研究動向に参加

## ■ 日本との関係

- 渡邊啓貴氏(帝京大学教授)が, 国際関係史委員会の推薦により, 2021年5月の総会にて理事に選出
- 2024年の総会が東京で開催されることが決定しており, あわせて国際シンポジウムを予定